

文学部
HAYASHI Kumiko
<div> <div><div><span><span>はやし くみこ</span></span></div></div> <ul style="list-style-type: none"><li> </li></ul> </div>
<div><div><b>研究課題</b>1●近世演劇文化の諸相</div></div>
PROFILE
職名
<div><div>文学部</div><div>日本語日本文学科教授</div></div>
学歴
<div>大阪市立大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程修了（1993）</div>
学位
<div>博士（文学）(大阪市立大学、1993)</div>
所属学会
<div>日本近世文学会、芸能史研究会、演劇研究会、歌舞伎学会</div>
専門分野
<div>日本近世演劇・文学</div>

## 林 久美子

はやし くみこ

**研究課題**1●近世演劇文化の諸相

**業 績**

**【著書】**

『浄瑠璃の世界』／「浄瑠璃の歌舞伎化―岩瀬文庫本『源氏供養』をめぐって」、世界思想社、1992年6月、共著。

『近世前期浄瑠璃の基礎的研究―正本の出版と演劇界の動向―』／和泉書院、1995年2月、単著。

『近世演劇を学ぶ人のために』／「絵入浄瑠璃本と絵入狂言本」、世界思想社、1997年5月、共著。

『浄瑠璃の誕生と古浄瑠璃』／「古浄瑠璃の新風―加賀掾―」岩波講座「歌舞伎・文楽」第7巻、岩波書店、1998年8月、共著。

『大阪市立大学文学部創立50周年記念国語国文学論集』／「雛の首―『妹背山婦女庭訓』<山の段>の形成―」、和泉書院、1999年6月、共著。

『京の鴨川と橋』／「四条河原の芝居」、思文閣出版、2001年7月、共著。

『説話論集 第十集』／「浄瑠璃の鎮西八郎為朝像」、清文堂、2001年7月、共著。

『京都の女性史』／「近松半二の作品にみる『京鹿子娘道成寺』と中村富十郎の芸の撰取」、思文閣出版、2002年10月、共著。

『浄瑠璃集』／「妹背山婦女庭訓」、小学館、2002年10月、共著。

『天下人の時代』／「古浄瑠璃の世界―『浄瑠璃御前物語』と冷泉の語り物を軸に」、平凡社、2003年3月、共著。

『悪女の文化誌』／「『悪婆』の魅力―歌舞伎の<悪女>―」、晃洋書房、2005年3月、共著。

『女の怪異学』／「負の継承としての怪異―坂東眞砂子『狗神』と京極夏彦『姑獲鳥』における憑き物筋―」、晃洋書房、2007年3月、共著。

『母と娘の歴史文化学―再生産される<性>』／「『いざよひ物語』と女訓書―阿仏尼をモデルにした浄瑠璃―」2009年3月、共著。

**【論文】**

「江戸浄瑠璃と井上播磨掾―『阿部鬼若丸』をめぐって」／『文学史研究』第22号、大阪市立大学国語国文学研究室、1981年11月、単著。

「『一若丸絵巻』の周辺」／『芸能史研究』第102号、芸能史研究会、1988年7月、単著。

「『源氏系ぼし折』の変容と展開」／『文学史研究』第30号、大阪市立大学国語国文学研究室、1989年11月、単著。

「上方絵入浄瑠璃本の諸相―板木の流用のいろいろ―」／リポート『歌舞伎研究と批評』7、1991年6月、単著。

「『万歳五色松』をめぐって」／リポート『歌舞伎研究と批評』12、1993年2月、単著。

「『傾城阿波の鳴門』の成立―五右衛門と十郎兵衛をめぐって―」／京都造形芸術大学紀要第2号、1996年3月、単著。

「石川五右衛門と日本駄右衛門の系譜」／21世紀関西を考える会『あうろーら』5号、

1996年11月、単著。

「『萩大名傾城敵討』考―悪人の妻の人物造型をめぐって―」／『京都造形芸術大学紀要』第3号、1998年3月、単著。

「大阪の改良演劇にみるフェミニズム」／『京都橘女子大学女性歴史文化研究所紀要』第8号、2000年3月、単著。

「善光寺開帳と浄瑠璃―元禄7年開帳時の反映―」／『文学史研究』46号、2006年3月、単著。

「初代中村富十郎、二代目嵐三五郎が演じた夕霧劇」／『京都橘大学研究紀要』第33号、2007年1月、単著。

**【翻刻と解題】**

『古浄瑠璃正本集 加賀掾編第3巻』／「大原御幸」「本朝中興花鳥伝」、大学堂書店、1991年2月、共著。

『古浄瑠璃正本集 加賀掾編第4巻』／「石山寺開帳」「兼好法師物見車」、大学堂書店、1992年2月、共著。

『古浄瑠璃正本集 角太夫編第2巻』／「源氏長久移徙悦」「くまる太郎」「志賀都物語」、大学堂書店、1992年10月、共著。

『古浄瑠璃正本集 加賀掾編第5巻』／「三井寺不動明王豊年護摩」、大学堂書店、1993年2月、共著。

『奥浄瑠璃集―翻刻と解題―』／「箱根戦」「奥州一の宮御本地由来の事」「金平甲論」「総説」、和泉書院、1994年2月、共著。

『古浄瑠璃正本集 角太夫編第3巻』／「ごすいでん」「どんらんき」「勇士の三つ物」、大学堂書店、1994年7月、共著。

『竹本義太夫浄瑠璃正本集』／「頼朝伊豆日記」「信濃源氏木曾物語」「義経東六法」、大学堂書店、1995年2月、共著。

「傾城阿波の鳴門」／叢書江戸文庫39『近松半二浄瑠璃集(2)』、1996年4月、共著。

『歌舞伎浄瑠璃稀本集成上下』／八木書店、2002年5月、共著。

**【講演・発表】**

<パネルディスカッション>「悪女の魅力“女”をキーワードに～歌舞伎をタテからヨコからナナメから～」／プラザカレッジ京都学特別講座、歌舞伎400年記念シンポジウム、2003年8月、共同。

“Old puppet plays about Zenkoji temple and its secret Buddhas”／ロンドン大学日本宗教研究センター、2005年6月、単独。

<シンポジウム>「近松・藤十郎・大坂の歌舞伎」／大坂歴史博物館、2005年10月、共同。

**【その他】**

<解説>『浄瑠璃作品要説2 紀海音編』／「甲陽軍艦今様姿」「新百人一首」など、国立劇場芸能調査室、1982年3月、共著。

<解説>『浄瑠璃作品要説7 江戸作者編』／「新板累物語」「聖徳太子職人鑑」、国立劇場芸能調査室、1986年2月、共著。

<資料紹介>『大坂本屋仲間板木売渡関係証文その他』『文学史研究』第28号／大阪市立大学国語国文学研究室、1987年12月、単著。

<解説>『浄瑠璃作品要説5 西沢一風・並木宗輔編』／「和泉国浮名溜池」国立劇場芸能調査室、1988年3月、共著。

<解説>『浄瑠璃作品要説6 為永太郎兵衛・浅田一鳥編』／「潤色江戸紫」「先陣浮洲巖」など、国立劇場芸能調査室、1990年3月、共著。

<解説>『浄瑠璃作品要説4 竹田出雲編』／「加賀国篠原合戦」「ひらかな盛衰記」など、国立劇場芸能調査室、1993年1月、共著。

<解題>『古浄瑠璃稀本集―影印と解題―』／「大伽藍宝物鏡」解題、八木書店、1995年5月、共著。

<解説>『浄瑠璃作品要説8 錦文流ほか編』／「暦」「木下蔭狭間合戦」「鳩海高名硯」「浄瑠璃作者―『浄瑠璃作品要説1～8』を中心に―」、国立劇場芸能調査室、1999年3月、共著。

<教科書>『日本芸能史』／「人形浄瑠璃」「歌舞伎」、昭和堂、1999年5月、共著。

<エッセイ>『クロノス』vol.30／「源氏絵と『浄瑠璃御前物語』」、女性歴史文化研究所、2009年3月、単著。

<聞き手、注>『近松再発見―華やぎと哀しみ』／「近松―語りの魅力」、和泉書院、2010年11月、共著。